

一般社団法人日本人間工学会第 36 回理事会 議事録

1. 開催日 : 平成 28 年 10 月 14 日 (金) 17:00~19:00
2. 開催場所 : 日本大学理工学部駿河台キャンパス 5 号館 2 階 524 会議室
3. 出席理事 : <敬称略>
 - ・理事会構成員(27 名・定足数 14 名以上)
 - (理事) : 堀江良典(理事長)、榎原毅(副理事長、改革・戦略)、青木和夫(表彰)、赤松幹之(編集)、阿久津正大、大内啓子(財務)、小谷賢太郎(国際、第 58 回大会・ACED2017)、斉藤進(子供の ICT 活用)、申紅仙、中西美和(総務)、福住伸一(人間工学専門家認定機構長)、藤田祐志(IEA)、松田文子(広報)、三宅晋司(財務)、横井孝志(ISO/TC159)、吉村健志
[16 名]
 - (理事兼支部長) : 大橋智樹(東北、総務)、三林洋介(関東)、斎藤真(東海)、臼井伸之介(関西)、村田厚生(中国・四国) [5 名] [計: 21 名]
 - (欠席者) : 岡田明(企画)、河合隆史、鳥居塚崇(第 58 回大会・ACED2017)、横山清子(学術)、横山真太郎(北海道)、和田親宗(九州・沖縄)
 - ・監事 : 酒井一博
 - ・オブザーバー : 平沢尚毅(北海道)、吉武良治
 - ・事務局 : 栗田紀子、米倉裕美

冒頭、第 5 期理事会の発足にあたり、堀江理事長より挨拶、ならびに副理事長、総務担当、財務担当の紹介があった。

4. 議事概要

定足数 14 名を超える 21 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款に従い理事長を議長として議事を進行した。

小谷賢太郎理事、臼井伸之介理事兼支部長、村田厚生理事兼支部長は、他の理事会参加者と意見交換が可能なネット会議システムによる出席であった。

【審議事項】

(1) 第 1 号議案 2018 年の第 59 回大会開催地について

堀江理事長より、第 59 回大会について、慣例に従い関東以外で開催したい旨説明がなされ、次回の理事会で決定したいとの提案があり、審議を経て承認された。

(2) 第 2 号議案 北海道支部長の代理出席について

堀江理事長より、横山北海道支部長が体調不良で今後の理事会出席が難しいため、平沢副支部長の代理出席をお認めいただきたいと提案があり、平沢副支部長をオブザーバー参加という形で、審議を経て承認された。審議後、平沢副支部長より支部長交代となると手続きがたいへんであり、横山支部長と相談しながら今後の支部活動を進めたいと挨拶があった。

(3) 第 3 号議案 その他

予算執行について

斎藤真東海支部長より、今年度から立て替え執行を求められているが運用が窮屈なので従来通

りに戻してほしいと意見が出たが、三宅財務理事より、年度初めに説明した通り、事前にきちんと予算申請があれば支出するので、従来と大きな変更はないと回答。堀江理事長より、税理士からできるだけ現金を扱わないことが求められているのでご理解いただきたいと補足があり、審議を経て承認された。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 一般社団法人日本人間工学会第 34 回理事会議事録、平成 28 年定時社員総会議事録、第 35 回理事会議事録

中西総務理事より、メール審議を経て第 34 回理事会議事録、第 35 回理事会議事録、ならびに平成 28 年定時社員総会議事録が承認された旨、報告があった。

(1-2) 会勢報告 (9 月末)

2016 年 9 月末現在、会員数 1,528 名、賛助会員 28 社 29 口

(1-3) メールによる審議および報告事項の結果について

中西総務理事より、メール審議事項として第 34 回理事会議事録、第 35 回理事会議事録、ならびに推薦依頼 1 件の報告があった。

(2) 財務報告

大内財務理事より、平成 28 年 8 月度収支決算の報告があった。

(3) 第 57 回大会報告

斎藤真大会長より、参加者数 485 名で滞りなく開催され、ご協力に感謝しますと謝辞が述べられた。

(4) 第 58 回大会準備報告

小谷 ACED2017 大会長より、資料に基づき ACED と JES58 回大会の準備状況について報告があった。なお、海外招待者に対する支援、JES のみ参加予定者に対する参加費の減免などについて質問があったが、大会実行委員会案通りとすることとなった。堀江理事長より、IEA' 82 東京大会(第 23 回大会)に準じて開催する旨説明があった。

(5) 担当・委員会報告

(5-1) 広報委員会

松田委員長より、青木前理事長による人間工学紹介記事(2016 年 7 月 24 日付、朝日新聞朝刊)の紹介があった。

(5-2) 編集委員会

赤松委員長より、学会誌の編集・発行状況について説明があった。さらに編集委員会として学会誌の今後の在り方、検討課題を検討中である旨、報告があった。

(5-3) 国際協力委員会

小谷委員長、藤田 IEA 会長より、ACED、IEA の現状報告があった。

(5-4) 人間工学専門家認定機構

福住機構長より、大会・支部大会などでの発表に際して、発表者が CPE の場合は CPE と表記することが機構で検討されている旨、報告があり、メリット・ディメリット等について更なる検討を求める意見があった。

(5-5) 学会改革戦略委員会

榎原委員長より、学会活動の活性化をどのようにはかっていくか、について中長期的な検討をすることが委員会の趣旨。会員数は最盛期に 2200 人、現在 1500 人。3 割くらい減っている。分母が減っているところも論文投稿数が減っていること理由の一つ。10 年先を見据えて学会活動を考える。第 1 回の会合を開き、活動に着手したところであると報告があった。支部の地区割りなどについて意見が出た。

(5-6) 倫理指針検討委員会

石橋委員長欠席のため、福住委員が配布資料に従い活動計画について代理説明した。

(5-7) 企画担当

阿久津担当より、企画に関して、研究部会、58 回大会、近い将来の企画案などを検討中であると報告があった。

(6) 支部報告

(6-1) 北海道支部

平沢副支部長より、横山支部長退官のため支部活動が混乱している状態だが、正常化を進めていると報告があった。

(6-2) 東北支部

大橋支部長より、12 月 11 日に研究会実施予定、2 月・3 月にも行事を計画中と報告があった。

(6-3) 関東支部

三林支部長より、支部委員選出の件ならびに支部大会開催(12 月 3・4 日、於：高崎経済大学、久宗大会長)の件について報告があった。

(6-4) 東海支部

斎藤支部長より、10 月 1 日支部役員会、10 月 15 日研究大会(名市大)、11 月 26 日支部役員会開催予定と報告があった。

(6-5) 関西支部

臼井支部長より、支部大会 12 月 10 日開催予定(近畿大学和歌山キャンパス、廣川大会長、すでに 30 件程度の申し込みあり)、12 月 5 日見学会開催予定(JR 西日本社員研修センター)と報告があった。

(6-6) 中国・四国支部

村田支部長より、12 月 10 日支部大会(香川大学、鈴木大会長)開催予定、AHFE を 2019 年あたりに東京で開催したいという情報があると報告があった。

(6-7) 九州・沖縄支部

三宅理事より、支部大会を 10 月 16・17 日に唐津で電子情報通信学会福祉情報工学研究会との共催で開催予定と報告があった。

(7) 協賛等の依頼

中西総務理事より、11 件の依頼について協賛、後援する旨報告があった。

(8) その他

- ・今後の理事会日程について、中西総務理事より平成 29 年 2 月を予定しているが、日程については後日メールアンケートを実施する旨、説明があった。なお、議題を提出される際は必ず事前にご提出されるように堀江理事長より依頼があった。
- ・事務局員の育児休業について、9 月末で法定育児休業が終了したが、保育園に預けられなかったため休職扱いとし、週一回程度の非常勤勤務となっている。

5. 閉会

以上の議事を終え、19時00分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、代表理事、監事がこれに記名押印する。

平成28年10月14日

代 表 理 事

堀 江 良 典 ⑩

監 事

酒 井 一 博 ⑩